

## 水 土 里 レ ポ ー ト

投稿月日	2022年7月6日
タイトル	2022年 理事に占める女性の割合10%達成による現地視察実施 ～第5次男女共同参画基本計画 2025年度成果目標を達成～
水土里レポーター名	水土里ネット 那須野ヶ原 星野 恵美子

令和3年10月、栃木県農政部を経由して「土地改良区等における男女共同参画の推進について」の通知を受け、当連合における理事に占める女性の割合について、2025年度までの目標10%を達成したことに伴い、新任員外理事の現地視察を開催しました。第5次計画において『男女共同参画・女性活躍は、分野横断的な価値として不可欠であり、あらゆる分野において男女共同参画・女性活躍の視点を常に確保し施策に反映させることが必要である。それが、持続可能な開発目標(SDGs)の実現にも必要であり、指導的地位に占める女性の割合が2020年代の可能な限り早期に30%程度となるよう目指す』として取り組まれてきたものの、当連合の場合、理事に占める女性の割合を10%にすることすら容易ではなかった。理事会に提案すれば、①連合は、所属土地改良区的意思に従うべし。②そもそも、耕作者主義だから、女性登用なんてあり得ない。③土地改良事業を理解するのにかなりの年月を要する。女に出来るわけがない、等の現職理事の意見多数に加え、唯一女性である専務理事に対し、「ところで、専務理事は役割全うしているの?」という状況下においてどうしたら目標達成が叶うのだろうか、日々模索の連続でした。

それでも粘り強く理事会等に働きかけ、令和4年3月28日第59回議員総会において、員外理事2名と員外監事1名の女性役員の就任が可決され、理事3(女性):22(男性)、幹事1(女性):2(男性)の割合となり、県下一早い目的達成に至りました。

令和4年6月30日、猛暑の中、『新任員外役員管内視察』と称して、深山ダムはじめ、主要な土地改良施設並びに小水力発電所などを案内、情報共有を行いました。「4万ヘクタール的那須野ヶ原扇状地内に整備された国営土地改良施設は規模も大きく、農業用水のみならず、様々な多面的役割を担っていること。また、上流と下流が用水でつながっており、上下流一体不可分の生活環境にあること」など、女性ならではの意見が飛び交い、男女共同参画の必要性を改めて認識。近い将来、女性の占める割合30%の目的達成に向けて、更なる意識改革に取り組まなければと強い思いに至った一日でした。



深山ダム全景



西岩崎頭首工



旧木野俣頭首工

～水の清らかさと涼やかさに、しばし、猛暑から離れて